

金沢市「次期金沢型学校教育モデル」構築会議に 有識者としてアルバ・エデュ代表 竹内が委員就任。



2022年 Speak Up!プログラムを実施した際の様子

一般社団法人アルバ・エデュ(東京都文京区、代表理事:竹内 明日香、以下「アルバ・エデュ」)の代表理事である竹内明日香が、金沢市教育委員会主導の「次期金沢型学校教育モデル」構築会議の委員に就任したことをお知らせします。

金沢市教育委員会では、2022年にアルバ・エデュが提供する「Speak Up! プログラム」を導入した実績があります。「すべての子どもに話す力を！」を掲げるアルバ・エデュとしても金沢市における次期学校教育モデルの構築の一助となれるよう尽力してまいります。

■アルバ・エデュ代表理事 竹内のコメント



昨年は、金沢市において教員研修と授業を含む「Speak Up!プログラム」を実施しており、教育長にもご視察いただきました。その際に「金沢市は話す力と読む力をセットにして、子どもたちを育てていきたい」というコメントを頂戴しました。また、校長先生からも「授業の際に生徒たちが、生き生きと話す様子が印象的だった」とお褒めの言葉をいただきました。この度は大役を拝命し、身の引き締まる思いです。金沢市の学校教育に貢献できるよう職務に邁進いたします。

■次期金沢型学校教育モデル構築会議について

<本件に関するお問い合わせ先>
一般社団法人アルバ・エデュ 広報担当 albapr@alba-partners.com

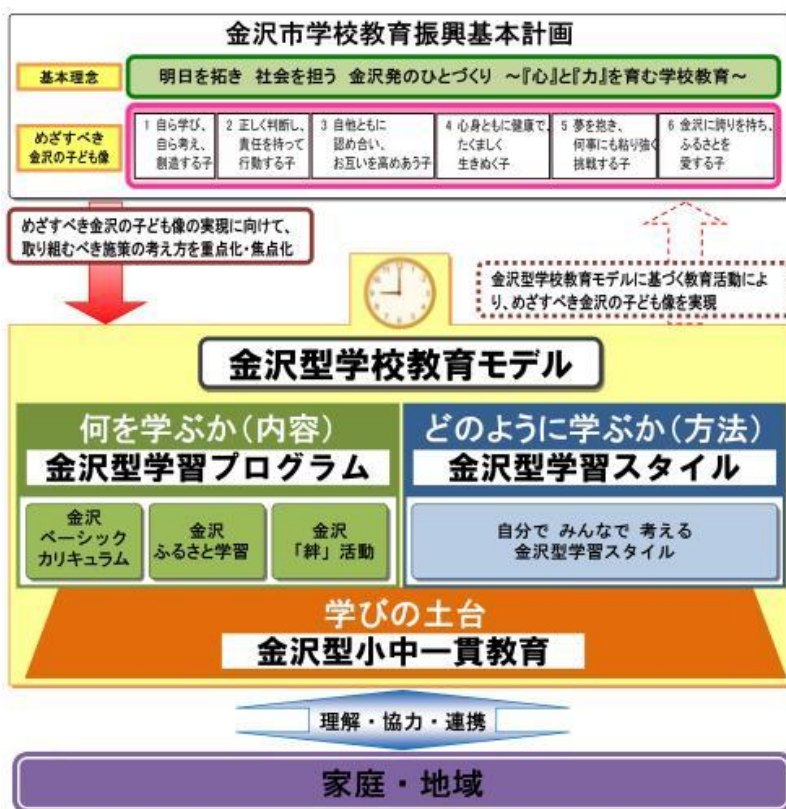
平成31年度に学習指導要領の改訂、GIGAスクール構想の前倒し、など学校教育に求められる「学ぶ内容」と「学び方」が変わってきています。

また、令和3年度に金沢市学校教育振興基本計画が改定されたことを踏まえ、今後ますます、予測困難で急速に変化する時代になることが予測されます。未来を創るために必要な力を身につけることができる金沢の子どもたちを育成するため、新しい時代が求める学びの在り方を踏まえた次期金沢型学校教育モデルを構築するために設置されました。委員は、学識経験者・有識者、学校関係者、保護者・地域関係者、経済・文関係者の15名で構成されます。今後の予定としては、令和5年度から有識者等からなる構築会議において新たな教育モデルに着手。令和6年夏ごろには、新モデルを決定し、各市立学校に周知を図りながら、令和7年度からの実践を目指しています。

■現行・金沢型学校教育モデルの概要

平成27年に策定された金沢市学校教育振興基本計画では、「明日を拓き、社会を担う金沢発のひとづくり ～『心』と『力』を育む学校教育～」を基本理念に掲げ、この中で「児童生徒には、時代の変化に対応するための多様な能力を備えることが強く求められていること」「多くの仲間や教員との交流を通して、明日を切り拓くために大切な『心』と『力』を身に付けることが必要であること」が明記されている。

この基本理念を踏まえ、児童生徒に必要な資質・能力の育成と教員の授業改善に資するよう「何を」「どのように」学ぶかを明確にした学校教育モデルを構築し、これに基づく教育活動を実践することにより、金沢市学校教育振興基本計画において掲げている豊かな「心」と多様な「力」を備えた「めざすべき金沢の子ども像」の実現を図ってきました。具体的には、児童生徒が「何を学ぶか」という内容として「金沢型学習プログラム」、「どのように学ぶか」という方法として「金沢型学習スタイル」、それらを支える学びの土台として「金沢型小中一貫教育」の3つの要素で新たなモデルを構築し、これを「金沢型学校教育モデル」と称する。



出典:金沢市ホームページ「金沢型学校教育モデル」

<以下、参考資料>

■2022年度に金沢市で導入された「Speak Up! プログラム」

<本件に関するお問い合わせ先>

一般社団法人アルバ・エデュ 広報担当 albapr@alba-partners.com

「Speak Up! プログラム」は、子どもの話す力を育てることを目的とした「アルバ・エデュ」が提供する教育プログラムです。アルバ・エデュは2022年度より日本財団からの助成を受け、全国10自治体でこの教育プログラムを推進しました。また、これまで全国の幼小中高大でのべ5.3万人の教員・子どもたちが研修や授業を受講しています（2023年8月時点）。

1. 教員研修のポイント

子どもたちを育成するためには、教員も「なぜ話す力が今の時代に必要か」「話す上で普段の授業と違う点はなにか」を理解することが必要です。今回の教員研修では、教員が子どもたちのプレゼンづくりを指導する際に、どのような声掛けをするかを学びます。教員の掛ける言葉一つで、子どもたちの自己肯定感は上がり、「もっと話したい」という意欲につながります。普段の授業から活用できるファシリテーションのポイントを紹介し、教員同士のワークなどを通じて実践的な教員研修を行います。

2. 児童・生徒向けモデル授業のポイント

モデル授業1回目では、自分の意見や思いを「考える」という、プレゼン作りの核となる部分について学びます。モデル授業2回目では、子どもたちが自己肯定感や自己効力感を高め、自分を堂々と表現できるようになることを目的に、「考える」ことをもとにして、「どのような伝え方をしたら聞き手の心に響く話ができるようになるのか」「どんな資料の見せ方をすれば自分の伝えたいことが伝わりやすくなるのか」について学びます。



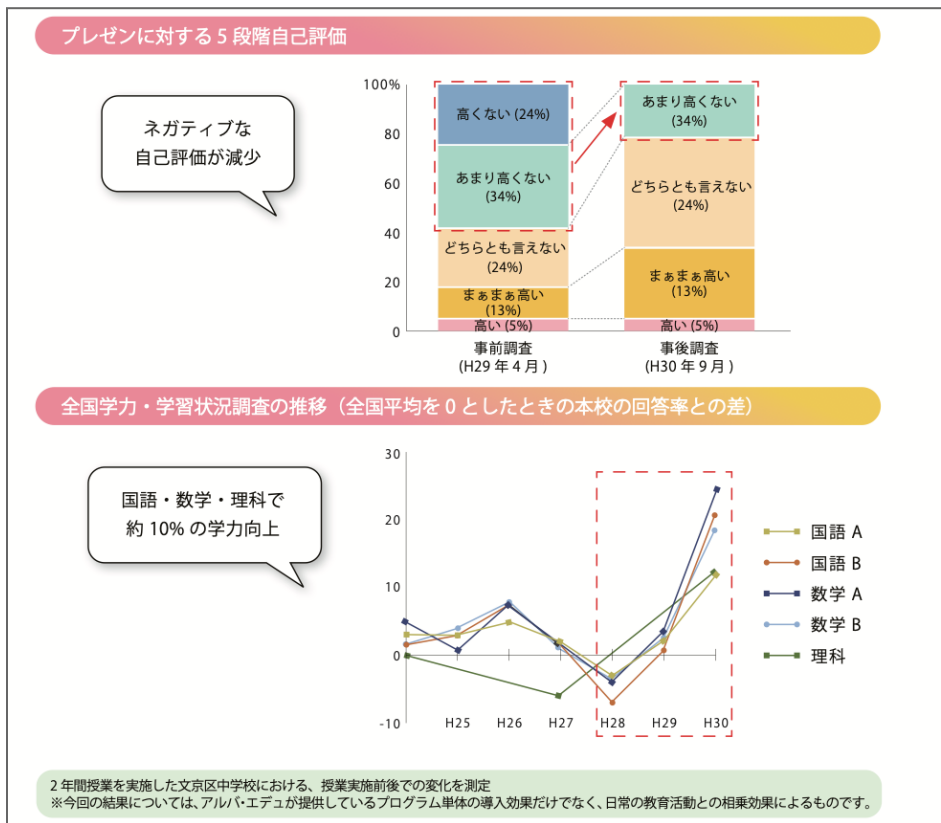
プログラムを受講した教員、児童・生徒、保護者の声

3. プログラムの教育効果について

<本件に関するお問い合わせ先>

一般社団法人アルバ・エデュ 広報担当 albapr@alba-partners.com

過去にプログラムを実施した研究指定校では、「プレゼンに対するネガティブな自己評価が減少」、さらに「国語・数学・理科で約10%の学力向上」という結果も出ています。



■一般社団法人アルバ・エデュについて

アルバ・エデュは、変化の激しい時代を生きる児童・生徒たちが、自己理解を深め自己効力感をもって未来を切り拓いていくために「話す力」を高める教育を全国に広げています。これまでに約5.3万人の子どもたちへの授業実績があります。代表理事の竹内が、金融業界で海外投資家と日本企業をつなぐ仕事をする中で、「日本の優れた製品やサービスの良さが伝わっていない」という現実にも何度も直面してきました。「話す力」は小さな成功体験を積み上げることによって高めることができるという信念のもと、教室内の心理的安全性をも高めるプログラムを提供しています。

所在地: 東京都文京区音羽1-17-11 花和ビル308号

設立: 2014年12月

代表理事: 竹内 明日香

URL: <https://www.alba-edu.org/>

■代表理事: 竹内 明日香について

日本興業銀行(現みずほ銀行)を経て、海外投資家向け情報発信や日系企業のプレゼン支援を提供して今日に至る。2014年、子どもの「話す力」の向上を目指す(社)アルバ・エデュを設立。教員研修や児童・生徒を対象としたモデル授業を展開。東京大学法学部卒業。NRS株式会社社外取締役。一般社団法人未来の先生フォーラム理事。公立小元PTA会長。二男一女の母。著書に『すべての子どもに「話す力」を』(英治出版) <http://www.eijipress.co.jp/book/book.php?epcode=2308>『思いを伝える話す力』(Z会出版、10月発売予定)。

<本件に関するお問い合わせ先>

一般社団法人アルバ・エデュ 広報担当 albapr@alba-partners.com